

第30回関西商工会議所女性会連合会総会大津大会

～比叡の山とびわ湖に囲まれた湖都・古都 大津～ 平成30年6月1日 びわ湖大津プリンスホテル



第30回関西女連総会大津大会が、53の女性会から630余名が参加し、華やかに開催されました。連合会の河内幸枝会長、尾崎公子名誉会長、開催地大津女性会の磯田陽子会長、それぞれのご挨拶で始まり、関西女連の団結を感じながら総会は進んでいきました。

講演会は大津絵師 五代目 高橋信介氏による「大津絵の世界－教えと心－」。「大津絵」は、シンプルでびわ湖のびとした描線、ユーモラスで風刺のきいた絵柄、独特の鮮やかな色彩がとてかわいく、見るものを惹き付けます。

高橋様が「大津絵」の歴史や意味の説明をしながら、等身大の和紙に「鬼の寒念仏」や「藤娘」を描いていく様子は圧巻でした。その後、大津絵踊り保存会の方々に大津絵踊りを披露いただき、大津の郷土文化を堪能いたしました。懇親会は、大津女性会の方々が心を込めて吟味して下さった素晴らしいコースのお料理をいただきながら、大津女性会有志メンバー「びわわず」による手作りの劇や歌やダンスのアトラクションを楽しみ、温かいおもてなしの気持ちを感じました。

晴天にも恵まれたこの日は、琵琶湖の湖面もキラキラと輝き、湖面を渡る風を感じる素晴らしいでした。大津大会はこの素晴らしい景色に勝る活気と、清々しい手作りのおもてなしを実行された素晴らしい会でした。

(株式会社アルメディア・ネットワーク 専務取締役 堀内 智子)

全国商工会議所女性会連合会創立50周年記念式典・第50回岩手総会

～つなげたい笑顔のかけはし～

平成30年10月3日 盛岡市民文化ホール

秋晴れの下、全国商工会議所女性会連合会創立50周年記念式典・第50回岩手総会が開催され、全国各地の女性会から1,451名が集まりました。大阪からは尾崎名誉会長、河内会長、および副会長4名が参加いたしました。式典・総会は、まず遠野の昔話の語りで始まり、主催者のご挨拶、ご来賓のご祝辞に続いて、第17回女性起業家大賞授賞式、全女連表彰授賞式が行われました。大商女性会は全女連設立当初からの会員女性会として創立50周年特別表彰を受けました。その後、「平和で心豊かな社会に向けて、女性会が未来の架け橋に」とうたった「岩手宣言」が特別決議されました。最後に次回開催地である鹿児島県の女性会がPRを行い、連合会旗が引き渡されました。

式典・総会終了後は(株)モスフードサービス代表取締役会長の櫻田厚氏が「食を通じて人を幸せにするモスバーガーの理念経営」と題してご講演されました。経営は「まず、ここありき」で理念が一番大切、モスの経営理念は「人間貢献、社会貢献」であり、「感謝される仕事をする」ことである、と熱く語られました。その後、懇親会が開かれ、鬼剣舞、さんさ踊りのアトラクション、岩手産の食材を使ったお料理等、岩手ならではのおもてなしを楽しませていただきました。

今回の総会のテーマは、盛岡出身の新渡戸稲造が「われ太平洋の架け橋とならん」と言われたことにちなみ、「つなげたい笑顔のかけはし」でした。そのテーマの通り、岩手県女性会の温かいおもてなしを受け、全国の女性会が笑顔のかけはしでつながった、全女連50周年に相応しい素晴らしい総会でした。

(株式会社広瀬製作所 代表取締役社長 廣瀬 恭子)



四年間をふりかえって

この度、池上淳子元会長、河内幸枝会長のもと無事副会長を務めることができましたこと、皆様から温かいご支援をいただいたおかげと心より感謝申し上げます。

この四年間、各委員会が今までにも増して活発な活動を行い、事例発表、伊勢志摩、北海道の視察研修、互礼会などさまざまな事業に積極的に参加いただいた結果、相乗作用で「参加すると楽しい、有意義である」と思っていたが、ますますパワーアップしたように思います。そして会員数も大幅に増加、組織強化に努めることができましたことを嬉しく思います。

これからもより輝く女性会をめざし、一会員として絆を大切に日々精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

(監事 乾 恵美子)

副会長に就任して

この度大阪商工会議所女性会副会長に就任致しました久保田光恵でございます。伝統ある大阪商工会議所女性会副会長を務めさせていただくにあたり、大変身の引き締まる思いでございます。60周年記念式典を無事盛大に終えることができましたのも会員の皆様のご協力の賜物と深く感謝いたしております。河内幸枝会長のもと、これからも皆様と共に益々パワー溢れる日本一の女性会を目指して精進してまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(副会長 久保田 光恵)

編集後記

新しいメンバーでのNOWの編集でありましたが、たくさんの方々にご協力頂き、無事発行することが出来ました。これからも皆様に満足して頂けるよう努力していく所存でございます。今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

広報委員会

創立60周年記念号

大商女性会 編集発行/大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250



Vol.39 2018年 秋号

ポインセチア 花言葉:「祝福」「幸運を祈る」「私の心は燃えている」「清純」

平成30年度の主な事業予定(後半)

- 12月11日(火) 組織・広報委員会合同忘年会
- 12月17日(月) 総務・企画委員会合同忘年会
- 12月18日(火)【大阪府女性会連合会】研修・交流会
- 平成31年
- 1月30日(水) 新年互礼会
- 2月20日(水) 経営事例発表会
- 2月25日(月)【大阪府女性会連合会】総会&講演会
- 3月11日(月)【関西女性会連合会】理事会&会長会議

大商女性会創立60周年記念式典開催

平成30年9月28日 帝国ホテル大阪「エンパイアルーム」

記念式典開催

この度帝国ホテルエンパイアルームにて「大阪商工会議所女性会創立60周年記念式典」が執り行われました。

この式典開催に際しては、関係各所の役員の方々が何度も打ち合わせをし、入念にご準備をなさっておられましたので、無事の開催となり安堵と喜びが一気に込み上げて参りました。

式典にはお忙しい中、全国各地から610名もの女性経営者がバスや各交通機関で続々とお祝いに駆けつけてくださり、本当に感謝の念に堪えません。ありがとうございました。

そして式典では来賓のそうそうたるメンバーからのお祝辞を賜り、その中でもご自身でお話くださった若き吉村市長の弁舌は爽やかで、清々しくもありました。

また尾崎公子名誉会長のご挨拶は、前回50周年の時からファンの方々もいらして、各テーブルでは身を乗り出してお聞きになる方や記念撮影をなさる方でいっぱいでした。今更ながら尾崎名誉会長の我々女性会会員に対する影響力を感じずにはおられませんでした。

この良き日にふさわしい晴天にも恵まれ、まるですべてが私たち大商女性会の創立60周年を心からお祝いしてくれているように思えてなりません。このような歴史的瞬間に立ち会うことができたことは私たちにとても大きな励みになり、またさらなる継続への力が湧いてきました。

(株式会社伊東商事 代表取締役 永井 理豫子)



記念講演『2020年への挑戦』～挑戦し続けること～

大商女性会創立60周年記念事業として、パラリンピアン谷真海さんに「2020年への挑戦」と題するご講演をしていただきました。

谷さんは、大学在学中に骨肉腫を発症しました。患部の右足は膝下を切除、その後10か月に及ぶ闘病生活の後、再びスポーツとして走るチャンスを得た谷さんは、右足のないことを障害と考えず、自分にあるものを最大限に伸ばしたいという思いのまま、競技スポーツ、就職、大学院への進学など、様々な分野への挑戦を始めます。中でも競技スポーツの分野では、走り幅跳びの選手として、アテネ、北京、ロンドンと3大会連続のパラリンピック出場を成し遂げました。さらに、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会のプレゼンターとして、トップバッターで英語のスピーチを成功させるなど、夢を与える・人がつながる・人の気持ちを前向きにすると信じたスポーツの力を、自身の行動で表現し続けました。

スポーツと企業経営、一見、全く異分野に立つ谷さんと私たち大商女性会会員です。しかし、困難を受け入れ、失ったものを嘆くのではなく、自分が持つものを大切にし、偏らないバランス感覚で人とつながり、人生をかけて挑戦をし続ける谷さんの姿には、本当に多くの学ぶべきものがあったと思います。

(アーカス総合法律事務所 弁護士 末永 京子)



中国視察団 ～中国女性経営者との心の交流～

平成30年5月15日～17日



『中国知蜜女性創業コミュニティ』の皆さまと交流すること、そして企業視察を目的に、総勢25名の皆さまと中国北京視察研修に行っていました。

到着早々、北京国際空港の美しさと規模の大きさに目を奪われ、世界的な先進都市となった北京市内へ移動、今回唯一の観光である広大な故宮の一部を見学しました。

夜は企業訪問として、知蜜会員が経営する薬膳火鍋レストラン『尽膳口福』にて、3代目経営者が創業以来守ってきた素材や薬膳スープにかける熱い思いをお聞きしながら、美味しい夕食をいただきました。河内会長ご持参のマロニーが火鍋と抜群に合い、お

鍋の中でも日中交流が行われました。

2日目は家事代行サービスを営む『阿姨来了』を訪問し、創業者周氏による講演と研修施設を見学させていただきました。そのビジネスモデルが凄いです！まさにチャイナドリームですが、その心は誠実そのものです。

企業訪問3つ目として『云海肴』の美味しい雲南料理をいただいた後、いよいよ今回のメインイベント『日中女性起業家交流会』が開催されました。日中の起業家が事例発表を行い、日本からは中西理翔さんと田中知世子さんに見事な発表をして頂きました。続いてのパネルディスカッションには、我々が河内会長と前内真智子さんが登壇。とても興味深く刺激を受ける内容となりました。3時間の予定があっという間に終了し、華やかな交流晩餐会が始まりました。大変賑やかに盛り上がり、最後は全員が手に手を繋ぎ大きな一つの輪になって唄を歌い踊りました。政治的な対立はあっても、これぞ日中交流の懸け橋、心と心の繋がりに感動しました。

最終日はアリババ資本の生鮮スーパー「盒馬鮮生」へ。食材は全て個別包装、鮮度を証明する方法も斬新で、そしてとても清潔です。スマホひとつで全ての買物が終了し、30分以内に自宅へ配送、キャッシュレス・カードレス化も日本を遥かに凌駕し、IT化においては学ぶべき点多数でした。今回は、全てにおいて期待を上回る大変勉強になった研修旅行でした。

(三和通産株式会社 代表取締役 中根 三恵子)

平成30年度通常総会・講演会

～お金持ちより友持ち。友情の山を築こう！～

平成30年6月27日 帝国ホテル大阪

大阪商工会議所女性会の平成30年度通常総会が帝国ホテル大阪で会員140余名を集め開催されました。

開会に先立ち河内幸枝会長は、お蔭様で会員数が当初の目標220名を達成できたのは皆さまのご協力があったこと。一昨年から始まった同期会は、新旧会員の親睦を深め、会員相互の結束に繋がっていると謝辞を述べられました。9月には創立60周年式典もあり、皆で心を合わせ祝いましょうと結ばれました。続いて尾崎公子名誉会長は、96歳のいま元気なのは「女性会の友情の絆」そのもの。血縁を超える友を持つことは人生を豊かにします。「金持ち」より「友持ち」。友情の山を築こう。その心得は次の3つ。1. 女性だからと甘えない。2. 苦しいこと辛いことがあっても負けたらあかん。3. 過去を悔やまず、未来を憂えず、今をしっかり生きよう。

「微笑みは人生の特効薬！」と笑顔で結ばれ会場は拍手に包まれました。

続いて事業報告・計画、収支決算・予算案と議案は全て満場一致で承認されました。今年には役員改選の年。河内会長の続投が承認され再選。また乾副会長の任期満了に伴い、後任に(株)アークティック代表取締役・久保田光恵さんが副会長に選出されました。

乾杯のご挨拶に立たれた尾崎裕大商会頭からは、6月18日に発生した大阪北部地震のお見舞いと日頃の謝辞、11月の万博開催地決定に向けて再度協力を要請されました。帝国ホテルの松花堂弁当をいただきながらしばし歓談。

講話は作家・玉岡かおるさん。「明治・大正・昭和 激動の時代を駆け抜けた女性起業家たち」というのがテーマ。いつの時代も男性と女性がいる限り、何ごとも協力して行うことが成功の鍵。特に女性はお話上手でサポートし、人を育てるのが上手。それが上手な人が企業家としても成功し幸せになっているとのこと。現代にも通じる話題でした。

(有限会社オフィス・メイ 代表取締役 鈴木 美和子)



経営事例発表会

平成30年10月18日 大阪商工会議所6階「白鳳の間」

『時代の変化に～母から娘に繋がりし心～』



株式会社芝苑
代表取締役
久島 眞知子 様

「はじめに夢、人は夢を描くからこそ不可能を可能に、それは創造力と勇気があればきっと叶う」久島様はお母様の緊張した口調を真似て話されました。常に仕事熱心なお母様を目標に頑張ってきたこと、今年65周年を迎えられます。そのお姿にはお客様第一に料亭を守ってきた女将の気概と自信が溢れていました。

お母様は石川県から写真一枚で大阪に嫁がれ、天ぷら屋から始められ懸命に働き、お店も2階から3階、そして5階建へと大きくされました。

久島様は大学卒業後、就職も決まっていたのですが、お母様の希望で女将を継ぐことになりました。その後驚くことに将棋界で認められ、女流プロを目指すかどうかの決断を迫られ、結局女将の道に進まれました。尊敬するお母様の後を継ぐということは大きなストレスでしたが、異なる世界で認められ、お母様と違った生き方ができると

いうことが大きな自信になりました。現在もアマ四段で、引退後は子供達に教えたという夢をお持ちです。

事業承継されてからは、組織改革にも力を注がれ、経営者と板前の両者にとって、良い関係になるよう組織を新しくされました。そこに私は久島様の二代目経営者としての優れた手腕を感じました。

昨年大阪の飲食店の20%が閉店したという中、生き残るために必要なことは何かを考えた時、スーパー、デパ地下等の中食の普及、食材の値上がり、食の安全性とコスト、人材不足など様々な問題があります。しかしその反面、ビジネスチャンスと考え、失敗を恐れず創造力と勇気で克服することができる、と凛として話される久島様のお姿に感動しました。

最後に「芝苑」を写真でご紹介頂きました。都会の中で静寂を感じる心やすらぐ空間で、まず茶室でお抹茶を頂き、その後四季折々の趣向を凝らした数々のお料理が、味をもって誠を尽くす精神で供されます。私もぜひ仕事のことをしばし忘れ、素晴らしいお料理を堪能させて頂きたいと思いました。

(乾卯栄養化学株式会社 取締役会長 乾 恵美子)



『美しい街づくり～環境健康産業へ～』



イカリ消毒株式会社
常務取締役
黒澤 尚子 様

イカリ消毒株式会社は千葉の港に入港する船のネズミ駆除消毒から始まり、来年60周年を迎えられます。

1964年東京オリンピック、1970年大阪万博と国際的なイベントの開催により社会的ニーズが高まり、現在は環境健康産業・国民の命を守る予防衛生業務に取り組んでおられます。

黒澤尚子さんは現社長の意思を継ぎ、「障がいを持った弟の代わりは私しかない！」という強い意志の元、後継者となる決意をされました。

そして現在は母娘2人3脚で仕事と家庭の両立を行い、男性中心の業界の中、女性活躍推進を積極的に行われています。

その取り組み事例として、展示会対応や社会問題をテーマにした産官学民連携セミナーの開催、メールマガジンの配信等を行い、お客様と社会との双方向コミュニケーションで共創社会の実現をめざしています。

社会貢献事業にも力を入れており、桜が咲き誇る美しい街づくりを目指し、会社全体では全国各地に約35万本の桜の植樹活動を行い、また、障がい者支援として、自社商品の梱包を福祉施設に業務委託されています。

これからもイカリ消毒は、社会に必要なとされる企業であるために精進していかれると、あの人懐っこい笑顔で、しかも毅然とした姿勢で仰っていたのが印象に残りました。

がんばれ!尚子さん!私達は応援いたします。

(平成運輸倉庫株式会社 代表取締役 鈴平 絹代)